

令和 8 年度 第 1 回 堺市 ICT 戦略推進本部会議 議事要旨

1 日時 令和 8 年 5 月 19 日 (火) 15:50 ~ 16:30

2 場所 本館 4 階 庁議室 (オンライン)

3 議題 【審議事項】

1 堺市 ICT 戦略の実行力強化

2 データ利活用の推進

【報告事項】

生成 AI の利用促進

堺市 DX の推進

令和 7 年度 ICT 予算の取組実績

オンライン化の推進

業務システムの標準化

4 議事要旨

【事務局 審議事項・報告事項 説明】

(高橋アドバイザー)

堺市の DX について職員の意識改革だけでなく、市民の方や事業者の方をはじめとした関係者の方々の協力、理解を得ることが重要。今回の SHIFT SAKAI の発信については、データを用いて説明することが重要である。オンライン化された行政手続については、利用を促進するために市民の方や事業者の理解や協力を得ることが必要であり、データを用いて説明することが欠かせない。生成 AI については、セキュリティ対策を施しながらより一層活用を進めることが重要である。

(佐小副市長)

SHIFT SAKAI と堺市 ICT 戦略との関係性はどう考えているのか。また、記載内容の更新予定や生成 AI の利用促進など今後注力していく事業の SHIFT SAKAI での取り扱いについて説明を。

(ICT イノベーション推進室長)

SHIFT SAKAI は、堺市 ICT 戦略に掲げる 5 つの戦略に基づいてこれまで各局で取り組んできた実

績を「市民サービスの向上」「行政運営の効率化」「堺市 ICT 推進体制」の 3 つのテーマにわけて示した
もの。取組の内容は常に変わっていくものであるため、掲載の内容については、今後、市民の方や職員か
らの意見聴取を行い、フィードバックを受けて改善していくべきと考えており、更新時期や掲載内容の見直
しもあわせて検討する。また、生成 AI については、今後、強く推進していくものであるため、SHIFT
SAKAI を更新する際は、その内容を反映する。

(本屋副市長)

データに基づいて施策を立案することは、市民サービスにつながるため、データの利活用は非常に重要で
ある。今回示したスケジュールどおりに進めてもらいたい。また、政策企画部だけでなく、財政部門や総務
部門等、関連する部署とも連携して進めてもらいたい。

(角田副市長)

EBPM を行うことは、ロジカルに政策を進めていく上で極めて重要である。一方で、データをずっと眺めて
いても意味はなく、あるべき姿をイメージした上で、実現に向けてデータを活用した政策検討が重要である。
本部員が自ら意識することで、取組の推進につなげてもらいたい。

(市長)

生成 AI については、本部員をはじめとする管理職が自ら率先して活用し、組織全体で利用を徹底す
ること。あわせて、その有効性や課題を自ら確認し、所管組織における利用状況に応じて、必要な指導・
支援を行うこと。

一方で、生成 AI の出力をそのまま判断や公表資料に用いるのではなく、最終的な確認と判断は職
員が責任を持って行うこと。市の方針や市民にとっての有益性を踏まえ、組織として適切に判断すること。

また、DX の推進・デジタルの活用にあたっては、デジタル・ディバイドの解消を重要な課題として位置づ
け、すべての市民・事業者がデジタル化の利便性を実感できるよう、各部局が主体的に取組を進めること。